

国際ロータリー 第2790地区地区職業奉仕委員会
第3回Bゾーンセミナー・アンケート集計

「あなたの正直な声をお聞かせ下さい！」

2013-14関口徳雄ガバナ一年度

実施日 2013.10.26(土)

会場 ウィンストンホテル ユーカリ

※各質問の回答を多い意見毎にグループ分けをしています。

Q1:職業奉仕についてどんなことで悩んでましたか？

- 1-1 職業奉仕は何をどうすることなのか分からないというのが本音です。今日の勉強が自分が何ができるかということにつきると思います。
- 1-2 奉仕がつくと良く分からなくなる。
- 1-3 先輩方にお話しを聞くと職業奉仕について様々な考え方があると聞きしました。具体的にどんなことが職業奉仕なのか解りませんでした。
- 1-4 このネーミングが理解しにくい。仕事に専念することが職業奉仕ではないかと考えたが、これだけでは浅はかである。
- 1-5 奉仕とは何か無償を言うのか、だとすると職業とは何か？
- 1-6 理解しにくい、説明がない
- 1-7 物や形で表現できず、どちらかと言うと精神面が大です。個々の考えが重要です。難しいです。
- 1-8 ロータリーの奉仕活動とはその中で職業奉仕に大変な意味の解らない不透明を感じていました。
- 1-9 「職業」と「奉仕」というこの相反する概念がどう結びつくか分かりませんでした。
- 1-10 概念がなかなかピンとこない。
- 1-11 年度によって考え方が様々なので悩む。
- 1-12 説明しにくい(奉仕という言葉の理解)。
- 1-13 私の言動など伝えにくい
- 1-14 自己の為の利益・他人への奉仕の矛盾
- 1-15 職業によって金を儲ける事が奉仕とどうつながるのかについて
- 1-16 ことばとして「職業奉仕」は日常生活の中でロータリークラブから離れてあまり使う言葉ではないと思います。
- 2-1 一業種一社というロータリークラブの理念？がどの様な意味を持っているのかを良く考え直す機会を持って行きたいと思います。
- 2-2 一人一業種だったものを5同業種を一緒にしながら人に対して思いやりながら利益を上げる今の現状は甘くないと思うと職業奉仕が分からないのです。
- 3-1 後継者づくり
- 3-2 人材育成
- 4-1 わかりにくい考えであるだけに理解する学習する機会が少ないと思う
- 5-1 社会奉仕との違いがよく分からない
- 6-1 どのように地域社会に奉仕できるのか？
- 7-1 地域セミナーで学んできたことを自分だけに適応できても、クラブ内に話し込もうとしても何もできなく、もどかしいさがある、クラブ内での報告、議論などどう進めていくのか悩み

Q2:何がきっかけで、職業奉仕に興味をもたれましたか？

- 1-1 友達の考えから、ボランティア活動していた友
- 1-2 セミナー等で海賓委員長のお話しをうかがい興味を持ちました
- 1-3 炉辺会合において先輩から話を聞いたことから
- 1-4 職業奉仕はロータリーの神髄であるという言葉で
- 1-5 ある講師の(ロータリーアン)話を聞いて
- 1-6 ロータリークラブへの入会がきっかけで
- 1-7 入会するまでは職業奉仕の事は知りませんでした。
- 2-1 委員長になった事により学ぶきっかけとなった
- 2-2 クラブの職業奉仕委員長として地区委員会セミナーに参加してから
- 2-3 所属クラブの2013-14年度の人事で職業奉仕委員長になったというのが事実です。ですが、いい機会と思い一生懸命取り組もうと思います。

- 2-4 委員長になったので
- 2-5 職業奉仕委員長になったことが機会になった
- 2-6 職業奉仕委員長になったことが切っ掛けですが、職業がロータリーの基本だと言うのは最もだと思います。ロータリアンが自分の職業を信じて行動することが大切だと思います
- 3-1 ロータリアンが自分の職業を信じて行動することを認識すること
- 3-2 ロータリーの基本理念であるからです。
- 3-3 自分本人がロータリアンとして社会的に道徳的に切磋琢磨に励むことが必要とわかった
- 3-4 「最も良く奉仕するもの最も多く報いられる」「超我の奉仕」を理解するにつれ、生計のためにしか考えでなかったことが、また、顧客のためになることを最優先してきたことに理論的に裏付けされたことが人生哲学でもある。
- 4-1 職業を通じてどのような奉仕ができるか？
- 5-1 マックスウェーバーの著書
- 6-1 会社や仕事を失うことは奉仕ではない。健康で有り、経営成績を上げることは大切
- 7-1 単に自己の利益を追求しがちになるが永遠に続けることはむずかしいと思った
- 8-1 特にはないが、自分の職業に倫理観を持って行動することは当然のことだから、過度に難しく説明すぎるのではないか。ロータリー創立以来職業倫理観の確立がされてきたと言うことは、職業人としても社会安定のために啓発できているのではないか
- 9-1 ガバナーは10月は職業奉仕月間でしたので思い出してくださいと、RI会長の考えかたを引用して言っていた。それでは11月は忘れていいのかとも言っていた
- 10-1 クラブに入会してから8年間になります。毎回例会にお花を持って行く、姉妹クラブの訪問時に大きな花(アレンジ)を持って行く

Q3: 職業奉仕を理解してすぐに実践できましたか？できなかつたらなぜですか？

- 1-1 理解しているかはどうかは自信はないが、日々努力をしているつもり
- 1-2 自己の仕事を一生涯やることそれが社会への道を開く
- 1-3 「最もよく奉仕するもの・・・」につきると思います。
- 1-4 少しずつ奉仕できると思います。
- 1-5 企業は継続が必要でありそのためには利益を出して営業せねばならない、よって以前から奉仕的精神を持って営業に取り組んでいる
- 1-6 日々精進しております
- 1-7 毎日しているつもり
- 1-8 ロータリークラブに入会前より職業奉仕を実践してきたと思います。特にロータリークラブ入会からの職業奉仕は以前と変化はありません
- 1-9 ”すぐに”ではありませんが、以前よりもいっそう誠実に職業に取り組めるようになりました。職業を行う事に喜びを感じています。
- 1-10 ロータリアンになり少しずつ理解してきた。
- 2-1 追求すればするほど理解は難しい
- 2-2 現実の厳しさ
- 2-3 自分の職業奉仕が正しいかよくわからない
- 2-4 出来ない、売り上げを上げる方が最優先している
- 2-5 実践は出来なかった理由としては本質が分からない為
- 2-6 既に実践していると私は思っています。
- 2-7 奉仕活動の実践は難しいのでできない
- 2-8 現実の市場原理による競争のなかでなかなか実践できない
- 2-9 問い自体が難しい何をもって実践と言うのか理解できない。自由競争を前提にする限り、職業倫理がなければ社会は安定しない真面目に仕事をすれば報われるという前提がなければ、誰も真面目に仕事しない
- 2-10 入会して数年間(長い間)意味が判りませんでした。
- 3-1 この7月に委員長に就任したばかりでまだまだ理解度が浅い、10月にクラブにおいて職業奉仕について卓話をした、その際自分なりにロータリーの歴史を振り返ることが出来る
- 4-1 自分の職業(お花のアレンジメント)を毎回例会に持っていくことをしていますはそれが自己満足この職業
- 5-1 職業奉仕を実践するためには高い道徳心が必要だと思います。そのためには心や時間、金銭的な余裕が必要。まず自分ができるところから一歩前に進むことが大切だと思います
- 6-1 利己と利他の調和を図ると言うが、具体的な線を引きするのは難しい、その競争相手もいるからだ。しかし、目でみるロータリーのテーマは生きていることが分かった
- 7-1 serviceを奉仕と訳するところにいるいろいろな難しいのでは

Q4:職業奉仕の何が一番印象にのこりましたか？

- 1-1 「最もよく奉仕するもの最も多く報いられる」ということは
- 1-2 世のために人のために奉仕をする心を持って職業を営む事
- 1-3 利益を求めることが一番ではなく「人のため」を最初に考えること
- 1-4 利他の心を持って他人の成功を願い事が成功の秘訣
- 1-5 自分の利益を優先しない考え方
- 1-6 受益者がロータリアン。最もよく奉仕するもの最も多く報いられる奉仕は見返りを求めないという考え方があるが、そこから見ると”報いられる”という考え方は正反対であると思
- 1-7 「最もよく奉仕するもの最も多く報いられる」の解釈
- 1-8 この標語をアメリカのレストラン協会で採用したと知った事
- 2-1 職業を通じて社会に貢献できること
- 2-2 人間として社会的道徳的な生き方、職業を通して貢献
- 2-3 職業奉仕の精神を追求していくことで、自己の向上心が向上していることが実感した。
- 3-1 職業を誇りとする仲間
- 3-2 自分の仕事に誇りをもつ
- 4-1 歴史的背景を知り勉強になった
- 5-1 CSは職業奉仕である
- 6-1 四つのテストは事業繁栄の近道かも。まわりの者が幸せになること。
- 7-1 ロータリアン同士で仕事を回し合う
- 8-1 仲間が協力して教えてもらったこと
- 9-1 奉仕＝サービス？ サービスが奉仕の言葉でいいのだろうか。少し疑問が……
- 10-1 四国の魚屋の職業奉仕(サービス?)の話がある。ただ、そのサービスの効果によって他の客も来るようになったことが職業奉仕の一例となったのだが、あえて有名にならなくても、御客さんが来て頂けるように職業奉仕の実践は大切だと思うのだが……
- 11-1 職業奉仕とは、自分の職業に対して常に要求される倫理観を心掛け、自身の誠実さを実行することが大切であるから、それはそれでよいことではないだろうか

Q5:今回のセミナーを受講してみて如何でしたか？

- 1-1 良かったです。ありがとうございます。感謝いたします。
- 1-2 とても参考になりました。
- 1-3 大変良い勉強になりました。
- 1-4 勉強になりました。
- 1-5 入会して1年ほどの私にとって職業奉仕を学ぶ良い機会でした。
- 1-6 職業奉仕に少し近づけた。ついて認識を深めるいい機会であった。
- 1-7 考えるチャンスや考えを深める機会となってよかった
- 1-8 良かった
- 2-1 様々な意見を聞け有意義であった
- 2-2 いろいろな意見が聞けた
- 2-3 諸先輩方の貴重な話をいろいろ伺うことができてよかった
- 2-4 各クラブの考え方が有り参考になりました。
- 2-5 色々な意見が有って良かった
- 2-6 とても勉強になりました。他クラブの方の意見を聞けたことは貴重な経験でした。
- 3-1 パワーポイントにて説明が判りやすかったと思います。
- 3-2 パワーポイントが勉強になった
- 3-3 ロータリーの設立及び職業奉仕が提唱された当時の時代背景から説明した方が良いのではなか？
- 4-1 ディスカッションテーマの内容から時間が少なかったと思います。
- 4-2 具体的な話を多くしてほしい。テーブルディスカッションは有効であるがリーダー次第であることを痛感した。
- 5-1 職業奉仕はロータリーの永遠のテーマであるがゆえ常に追求していくことが肝要である
- 5-2 職業奉仕を実践していこうと思った
- 6-1 資本主義社会のロータリーの役割は物心両面に渡る奉仕と考えます。様々な形を公平にしたいものです。
- 7-1 職業奉仕とは自分の職業だけのプロフィットと感謝されることではなく職業を通し、品格、人間性が受け入れられ最終的にプロフィットになることではないでしょうか
- 8-1 職業奉仕の精神を学ぶことが出来ました。RIが職業を持っていない人でもロータリアンになれるとの立法ができたので今後の職業奉仕の衰退が心配です。

- 9-1 職業奉仕の意味が分かり、Rアンは職業は基本であり、社会的な生き方を見失うことのない行動、貢献こそが大切になると思います。

ご協力ありがとうございました。
集計:編纂 梅原正一委員(上総RC)